

# 若い地域を20年間見守る「健診のプロ」

⑫① 第二臨海クリニック (東京都江戸川区)



トラック会館。クリニックは2階と4階に入っている

**開**院から20年が経過した。この4月からは21年目に突入する。臨海第二クリニックは東京の東端・江戸川区西葛西で健康診断に注力している診療所。地域でもユニークな存在として知られている。住宅街の中にある立地にもかかわらず、多くの受診者が訪れている。

「メインは施設での健診。一般健康診断(雇入れ時の健康診断、定期健康診断)や生活習慣病予防健康診断、特定健診、人間ドック、婦人科検診などを行っています」(脇川薫事務長)

開院当時、江戸川区の南部で健診を中心とし

た医療を展開する機関は他になかった。長年にわたって歴史を刻んできたが、3年ほど前にリニューアル。広がったことで収容人員も増えた。

「臨海クリニック」は江戸川区臨海町葛西トラックターミナル内に1988年、開設された。92年に第二臨海クリニックが開院。95年には東京都福祉局より全国健康保険協会管掌健康保険成人病予防検診の指定医療機関となった。

クリニックを運営する綜友会は学校・企業・官公庁における健康診断、集団健診、巡回健診など、各種検査のスペシャリスト集団。健康診断の相談



4階受付。リニューアルで広がった



2階待合。動線にも配慮されている



4階入り口。オープンな雰囲気



5階マンモグラフィ。女性利用者にも好評



会館1階油井欽一氏銅像。誘致の立役者だ



4階診察室。リラックスできる空間

から実施、分かりやすい結果報告とアフターフォロー、二次検査の実施や医療機関の紹介と、受診される側の立場に立ったきめ細かい健診システムを確立している。

綜友会が掲げる「予防医学」はこちらでも実践されている。その点では高戸橋クリニック(東京・新宿区)とも通じるものがある。高戸橋では巡回健診や二次健診に力を入れている。

「地域の住民にはまだ若い方が多くいらっしゃいます。5～10年後であれば、今とは変わらずやっていけるのではないのでしょうか」(同)

クリニックが入っているのはトラック会館。東京都トラック協会が建てたビルだ。同協会の江戸川支部の支部長を務めた故油井欽一・信濃運輸初代社長が「会館に入って、医療機関をやってくれないか」と頼んだことから全ては始まった。油井氏は昨年惜しまれながら逝去している。だが、氏の銅像は今も会館の1階にあり、クリニックを訪れる受診者を迎え、見送っているようだ。

「トラック運転手の皆さんの健診もさせていただきました。そこから始めて徐々に広がっていったところなんです」(同)